

民間企業と連携したナレッジ事業の事例紹介 & 公募のお知らせ

JIFPROは昨年度、ヤマハ（株）とオリエンタルコンサルタンツグローバル（株）と連携して、日本のナレッジ（知恵）を活用して森林保全や生計向上に役立てる2つのユニークな取り組みを行いました。

前者では、熱帯で早く育つ早生樹であるトゥーナ（センダン科の *Toona ciliata* で家具などに使われます）等を楽器の部材として新たに活用するための基礎試験に取り組みました。企業が蓄積する様々な知見や技術を活用することで、このトゥーナ材がギターのネック等に使える可能性が高いことを明らかにしました。一つの楽器の開発・製造には膨大な作業工程を要しますが、今後、企業側で更に検討が重ねられ、近い将来皆さんが手にするギターに、タンザニアのコミュニティ（写真1）が持続的な手法で育てたトゥーナ材が使われる日が来ることに期待しています。



写真1

後者では、オメガ3を多く含むことで近年世界で注目されるサチャインチオイルを搾った高タンパクな残渣を副産物として有効利用する手法を実証的に示しました。サチャインチ（*Plukenetia volubilis*）は南米ペルーを原産とする常緑つる

性植物で、その種はオイル成分を含み「インカナッツ」「グリーンナッツ」とも呼ばれます。実証調査では、微粉末化を中心とする食品利用向けの加工を行い、プロの料理人の知恵と工夫も得つつ、大変おいしい和食やペルー料理の数々が創作されました（写真2）。こちらも現地で加工・製造ラインの整備が整うまで多くのプロセスを要す

と思われるかもしれませんが、関係者が更に取り組みを進化させ、ペルーの住民が新たに作った、手軽でおいしい高タンパクのサチャインチパウダーを、店舗やネットで皆さんが購入できる日が来るものと思います。

今回ご紹介した2社は、「途上国森林ナレッジ活用促進事業」（以下「ナレッジ事業」と言います）の実証調査業務の公募で選ばれました。今年もナレッジ事業で実証調査を行う団体を募集します。途上国の森林資源の持続的な利用にかかる課題を、日本の知恵や技術で改善・解決したい方、ご興味のある方は、ぜひ、JIFPROのホームページのお知らせ欄をチェックしてください（例年は5月に募集をしています）。皆さんの新たな視点に期待をしています。

なお、この2つの事例は、令和3年2月28日に公開セミナー「日本の「ちえ」で途上国の森林減少を止めSDGsに貢献するには」において紹介しました。JIFPROのホームページのセミナーの報告にて、両事例の資料を公開していますので、合わせてご覧ください。

（ jifpro.or.jp/infomation/10600/ ）

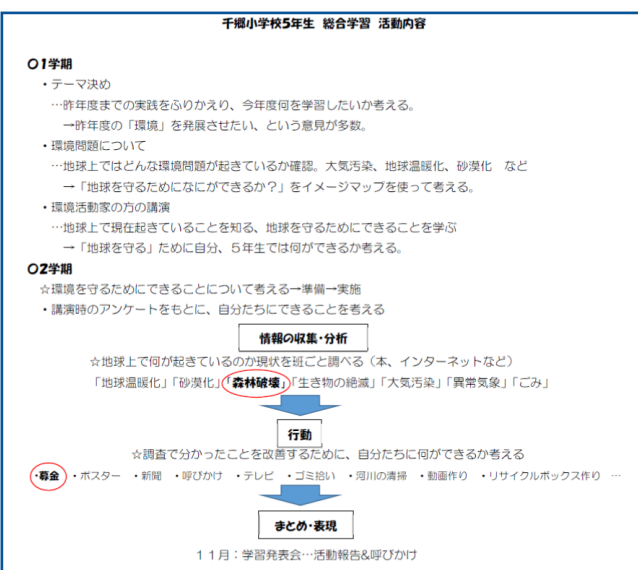


写真2

小学生からのご寄付 – 総合学習の成果として –

昨年の12月22日に愛知県新城市の小学校から12,286円の寄付がありました。何の連絡もなく、突然、銀行口座に入金があったので、小学校あてに「今回の寄付の経緯について教えてください」と連絡したところ、5年生の先生から返事がありました。「今年取り組んだ総合学習の時間で「環境」について勉強しました。現在の環境について調べて、その状態を良くするために何かをしたら良いかを子供達が考えて、その結果が募金となりました。」という回答でした。また、総合学習の活動内容についての資料も一緒に届きました。

こうしたご寄付と併せて、弊センターではネットの「寄付プラットフォーム Syncable」を通じて多くの方からご寄付をいただいています。令和3年度は100万円近い金額を皆様からいただいております、その金額は、毎年、少しずつ増えています。小学生だけでなく環境保全に関する一般の方々の思いがこうしたご寄付に繋がっているものと思っているところです。こうした皆様の思いに精一杯、応えるように活動を行っていきます。



JIFPROへのご支援（令和3年度の実績）

JIFPROでは皆様からご支援をいただき様々な活動を行っています。令和3年度のご寄付等の総額は約1,400万円となりました。これは例年より多い金額となっておりますが、大口の寄付（約500万円）が含まれているためです。こうした皆様からのご支援に応えられるようにこれからも活動を継続していきます。

種別	支援対象	回数	金額
賛助会費	JIFPRO活動全般	継続	定額
一般寄付	JIFPRO活動全般	一回から／継続	任意
熱帯林造成寄付	熱帯林造成活動	一回から／継続	任意

新たな補助事業がスタート

今年度から林野庁の補助事業として「**途上国森林づくり活動貢献可視化事業**」に取り組みます。

この事業は、民間企業等が行う途上国における森林づくり活動において、その貢献度を表す指標や貢献度を高める技術等について国内外の取組事例や文献による調査のほか、有識者・企業等へのヒアリング等を通じて情報を収集・整理し、可視化手法を検討するものです。

この可視化を通じてESG投資などの民間企業等の活動参入や規模拡大を促進することで、途上国の森林減少・劣化の抑制に貢献したいと考えています。

